（前ページからつづく）

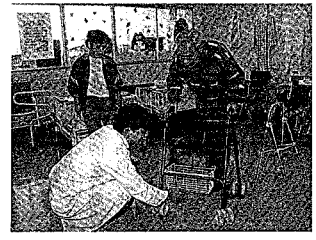
構想」のスタートの年にあたっております。したがいまして、財政計画との整合性をはかりながら、「基本構想」に盛り込まれた市政の方向性を確実なものにするべく市民要望の的確な把握と事業の選択、優先順位に留意し、編成作業

安心して暮らせるまちをつくるために

このたびの「阪神・淡路大震災」の惨状を見るまでもなく、まちづくりの根底には「安心・安全」な地域社会がなければなりません。現在の科学力、技術力では、自然災害の襲来を防ぐことはできません。しかし、災害に強いまちをつくることはできます。それにはハード面のみの整備にとどまらず、ソフトの面からの取り組みもまた、極めて重要であるということが、このたびの大震災の貴重な教訓でありました。地域社会とは、男性

災害時の情報発信基地・エフエム新津

と女性、子どもと成人、若い人と高齢者など様々な人間、多様な価値観と生活様式を持つ人々の集まりであります。そして、地域はこうした多様な人々の集団であっても、一つにまとまってこそ地域であるということを改めて教えてくれたのが今回の大震災でありました。また、河川、公園など公共空間の果たす役割が大きくクローズアップされたことも見逃せません。したがいまして、これら大震災が浮き彫りにしてくれたまちづくり



2つ目の在宅介護支援センターが開設に

の課題に基づいて「地域防災計画」の見直しを進め、ハード、ソフトの両面から災害に強いまちづくりを考えてまいりたいと思います。事は緊急を要します。現在、見直し作業に着手しておりますが、できるだけ早い機会に成案を得、市民の皆さんにお示ししたいと考えております。

このたびの大震災のもう一つの痛ましい特徴は、弱者といわれる方々の犠牲が多かったことであります。私はこれまでも「弱者の目線から見た人に優しい都市基盤整備」という言い方をしてまいりましたが、防災面のみならず、まちづくりのあらゆる面においてこのことに配慮していく必要性を改めて強く感じているところであります。

なお、エフエム新津の開局を進めるにあたって、私は災害時におけるラジオ放送の有効性を強調してまいりましたが、はからずも今回の大震災によってそれが証明されました。ラジオ放送の特徴である即時性、同報性を生かすとともに、その機能を災害時における指揮命令系統に組み込むことも検討しながら「地域防災計画」の見直しに臨んでまいるつもりであります。

一方、今、誰もが不安を感じていることに高齢化の問題があります。当市における六十五歳以上人口の割合は十七・五パーセントに達し、既に「高齢化社会」から「高齢社会」へと移行しております。「少子化」の進行とあいまって、高齢者比率は今後も上昇を続けることが予測されております。したがいまして、財政計画との調整をはかりながら「新津市保健福祉計画」の着実な実施をはかることを基本に諸施策の推進をはかってまいりたいと考えておりますが、新年度におきましては、ショートステイの大幅な増床がはかられるとともに、それぞれ二か所目となる

お買物、ご用命は市内で

EMで生ゴミを処理し
自然農法による野菜を食べてみませんか
EMバックインスペシャル（生ゴミ処理器）
ボカシ各種、EM菌1号
取扱店：天壽薬草協会 EM班
㈲酒井商店内 朝日121 TEL 22-7675

JEWELRY・GLASSES・WATCH
NOMOTO SINCE 1909
4/1(土)▷16(日)
（期間中は休まず営業いたします）
The 眼鏡祭 '95
より快適なメガネを掛けていただきたく、当店では
4月1日より一部レンズを値下げいたします。
宝飾・メガネ・時計 野本
4月の休業日 4/17(月)・4/27(木)
〒956 新津市本町3丁目8-4 TEL.(0250)22-0070(代)

るデイ・サービスセンター、在宅介護支援センターの開設も予定しているところであります。また、当市では初めての老人保健施設である「健進館」が新年度の早い時期に開所いたします。在宅福祉支援策の柱の一つであるこれら施設の整備が急速に進むこととなります。

しかし、残された課題もまた多くあるのが現状であります。私はその一つがマンパワーの問題であり、市民の皆さん一人ひとりが高齢者福祉に関わっていくシステム構築をどのように進めるかということと認識しております。誰もが等しく年齢を積み重ね、やがて高齢者となる時期を迎えます。高齢者福祉を今後どのような体制で進めていくべきか、一人ひとりが自らの課題として考えなければなりません。その方法は様々でありましょうが、一人ひとりが高齢社会に対して何かしらの関わりを持つということ、このことを私は強く市民の皆さんに訴えてまいりたい

賑（にぎ）わいと交流のまちをつくるために

まちづくりには、その地域をどのような理念のもとにどのような将来像を描くのか、そしてどのような方策で将来像に向かって進んでいくのかが問われております。全国各地には多様な理念のもと、様々な性格の都市が存在しておりますが、私はこれまでもたびたび言及してきましたように、新津市はその恵まれた自然、歴史と伝統、さらには蓄積された文化の素地等からみて、文化と自然を生かした

と思います。そして、そうした市民の皆さんの自発性に対し、信頼で応えることを保証する支援システムを組み立てることが行政に課せられた大きな使命であると自覚し、ともに模索してまいりたいと考えております。こうした観点から、新年度におきまして市民の皆さんに広く「福祉貯金」を呼びかけてまいりたいと思いますし、家庭で高齢者の介護にあたる皆さんを側面から支援する一方策として、ホームヘルパー研修会の開催も考えているところであります。

いずれにいたしましても、高齢者福祉の課題は行政とともに市民の皆さん一人ひとり、みんなが参加する方向でなければ成果が挙がるものではありません。ともに知恵を出し合い、試行を重ねながらより良い支援システムを求めてまいりたいと思います。

高齢者福祉はもちろんのこと、福祉全般のレベルを高めていくうえで基礎となるものは、日頃から

の健康管理であります。乳幼児期からの健康づくりがその出発点との認識のもと、これまでも鋭意取り組んできたところでありますが、新年度におきましては、人間ドックの受診対象年齢を四十歳から三十五歳に引き下げることといたしました。健康管理の第一次的責任は、それぞれの個人にあることは言うまでもありません。市民各位がこの枠拡大を利用され、普段からの健康管理に努めていただきますよう希望する次第であります。また、昨年から実施いたしました「骨粗しょう症検診」につきましても、新年度から受診枠の拡大をはかることといたしております。従来の十八歳から三十九歳までという年齢対象制限を五十九歳までと大幅に拡充いたしますので、多くの方からご利用いただきたいと思います。

福祉・保健に関する新規の施策といたしまして、重度視覚障害など全身性障害をお持ちの皆さんが

外出するとき、あるいは社会活動に参加する際の支援策として、ガイドヘルパー派遣事業を開始することといたしました。また、一人暮らしのお年寄りの皆さんに喜ばれている配食サービスも、その対象者を広げて実施していくことといたしました。

このほか、市立保育所における延長保育時間の拡大、私立保育園の保母の待遇改善などにも引き続き意を用いるとともに、学童保育への助成策も講じ、女性の社会参加促進の一助に資することといたしております。

なお、新年度におきましては老朽化が著しい新金沢町の市営住宅の建替えを予定しているほか、これまで継続して取り組んでまいりました歩道設置事業に、新たに山先交差点から山先橋までの間の整備も予定し、安心して暮らせるまち、安全に生活できるまちづくりに力を入れていくことといたしております。

るということであります。一人ひとりの市民の皆さんが充実した生活を営む基盤を確かなものにしなければなりません。そのためには、農業、商業、工業のバランスのとれた産業振興をはかることが必要

（次のページへつづく）

お買物、ご用命は市内で

動物も家族の一員です。
診療時間
平日
AM 9:00〜12:00 外来受付
PM 1:00〜3:00 手術時間
PM 3:00〜6:30 外来受付
土曜日
AM 9:00〜12:00 外来受付
PM 1:30〜3:00 外来受付
日曜・祭日（予約）
AM 9:30〜11:30 外来受付
案内
●犬・猫・小鳥・小動物診療
●内分泌科
●皮膚科
●犬 人工授精科
●動物コンサルタント
●処方食・フード
●グルーミング
●ホテル
小島動物病院
秋葉2丁目（秋葉公園入口）
Phone 24-2223
当院駐車場完備
花 観光道路 至五泉
秋葉公園
マンション 老人福祉センター